熊歯会報

2
2007

Kumasi Kaihou

2007年2月15日
No.610

熊本県歯科医師会

熊歯会報 2月号

2007

― 表紙に寄せて ―

近所で行われたどんどやに参加した。天気もよく結構な人が集まっていた。子供が松明で点火、炎が勢いよく燃え上がり、大人たちは、炭焼きのいわしを頬張りながらかっぽ酒に舌鼓を打っていた。今年もいい年で有りますように

（N.T）

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

もくじ

巻頭言　医療対策　犬束美尚 ……3

第11回理事会……4・5

委員会だより（センター・調査・IT・厚生管理）6～10

個別指導の現場から（No.29）……11

国保だより……12・13

郡市会だより……14～16
（上益城・阿蘇・天草・菊池）

会務報告……18～20

編集後記

情報提供の強化とトラブル対応の再検討

医療対策担当理事　犬束　美尚

医療対策委員会担当理事、２期目を仰せつかりました犬束です。

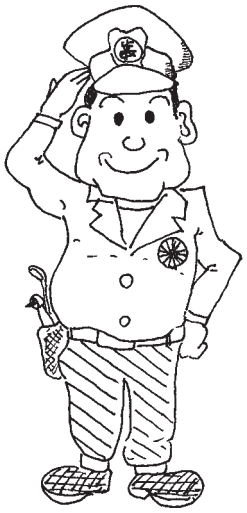
早いもので既に10ヵ月が経過しております。会員の先生方のご協力により、委員会活動も順調に進めることができております。しかし、目まぐるしく変化して行く社会情勢の中では立ち止まることは許されないようになって来ております。歯科医師会や委員会の活動に関しても状況を的確に把握し、新しい発想で対応することが求められているようです。医療対策委員会も１期目は委員会の活動を継承、確立し、対応システムを拡大することが 主要目的と考えておりました。十分努力したつもりではありますが、反省すべき点も多々あったと思います。２期目のこの時点で、さらにもう一段高いレベルを目標にし、努力して行きたいと決意致しました。今後の重点項目として次の２点を挙げたいと思います。

①会員の先生方への情報提供の強化

医療トラブルに関する情報は会員の先生方にとって盾となり矛となるものであり、身を守る鎧でもあり武器でもあると思います。これからは今まで以上に広範囲の情報を提供していきたいと考えております。具体的な例として、これから増加が懸念される精神的疾患をもった患者への対応等が挙げられます。医療トラブルを少なくしていくためにも学術委員会、社保委員会、厚生管理委員会等、その他の委員会とも連携をとり、他方面の情報を発信して行きたいと思います。

②医療トラブル対応の再検討

基本的な方針、考え方は変わることはありませんが、再度過去の事例などを参考にし、効率よく、関係する方々に負担の少ない対応をして行きたいと考えます。現状の結果に満足する事なく、より高いレベルの状態の達成のため努力をすること。今まであったリスクや欠点を少しでも改善、改良することができる可能性について検討すること。新しい情報について広く収集し検討を加え、既存の情報についても修正を加えること等。色々な検討が必要となって来ております。



熊本県歯科医師会の理事として、より一層の努力をして行きたいと思っております。会員の先生方のご指導よろしくお願い致します。

理事会報告

公益法人改革についても検討

― 第11回理事会 ―

12月15日（金）午後５時より、県歯会館第１会議室にて堤会長他全役員の出席のもと議長を堤会長、議事録署名人を松岡、勇理事とし開催された。

堤会長あいさつ

今朝の熊日新聞「肥後医育250周年記念特集」の中に、本会の広告が掲載されていましたがご覧になられましたでしょうか。歴史を学ぶこと、先人の知恵を学ぶことで、物事の流れを知り、より深く理解する事が出きるのだと思います。

250年前に設立された再春館ですが、その頃の歯科医師はというと、歯抜き師・入れ歯師といった職業が見られ、歯科医療には程遠く、まだむし歯治療はなかったようです。明治に歯科医師が誕生し、本会も設立され、来年100周年という節目の年を迎えます。現在、記念式典の準備や100周年記念史の編纂に取り組んでいるところですが、過去の記念史をひも解いてみますと、創設期からしばらくは歯科医師と非歯科医師の区別をどうするかということが大きな問題となっていたようで、解決するために様々な施策を行ってきたことがわかります。歴史において、さまざまな過程を経て先輩方が苦労の末勝ち取ってきたものであるという、いわゆる物事のラインも踏まえて考える必要があると思います。どの事業についても、最終的には公益法人である学術団体として存在感を示しながら、誇りをもって、未来を切り開いていかなければならないと思っています。

報　告

総　　務：第９回日歯理事会、第15回日歯常務理事会、日歯機構改革検討委員会、第10回理事会、第21回常務理事会、新入会員研修会、熊本県医療安全推進協議会、公益法人制度改革に関する説明会、熊本県プライマリ・ケア研究会総会・研修会

学　　術：平成18年度日歯ＤＶＤ形式＆会員発表、海外技術研修会等の研修中間報告会

社会保険：保険だより、点数アップの心得、社会保険事務局との打合せ、保険個別指導の立会い

地域保健：笑顔ヘルＣキャンペーン実施内容報告及び反省

厚生管理：医療管理講演会、厚生・管理だより

広　　報：「熊歯会報」12月号校正

学校歯科：日学歯選挙管理委員会

医療対策：医療相談、過去の事例分析、医療事故トラブル予防講演会、新入会員研修会

センター・調査ＩＴ：　障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業、介護者歯科実技研修事業、ＳＯ日本夏季ナショナルゲーム・熊本第４回実行委員会及び懇親会

学　　院：熊本歯科技術専門学校との懇談会、学院教務委員会、全衛協専任教員秋期学術研修会

国　　保：国保理事会、全協被保険者決起大会

以上、11月24日から12月10日までの総務、各委員会、他の動きについて、堤会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その２

１．オンラインシステム請求

レセプトオンライン化について、現在までに得られた情報として、ＡＳＰ（アプリケーション・サービス・プロバイダ）を利用するシステムであるということ、これを利用してレセプトを送付した場合、明からに誤りのあるレセプトについては事前にエラー報告があり、返戻等の確認ができるサービス等があること等である。また、当月の日医雑誌によると、歯科以外では既にＡＳＰによるオンライン化が導入されているが（医科14.6%[2006年３月分]、調剤65.6%[同])、このＡＳＰを利用することで診療報酬に関するさまざまな分析データを得る事ができ、更にパソコンの設定により、自医院の診療報酬について様々なシュミレートもできるようになること、更に、オンライン化先進国である韓国の状況等についての報告があった。

２．平成19年度九地連関係諸会議本県担当開催予定日

・専務理事会　平成20年１月５日（土）

・歯科医療安全対策担当者会　平成19年10月27日（土）

３．平成19年１・２・３月の主たる行事

１～３月の主要な会議についての日程確認を行った。

４．第５４回「熊本小児保健研究会」開催に伴う後援依頼

・標記研究会の後援を行う旨報告があった。

５．公益法人改革の概要

熊本県主催の公益法人改革説明会において、公益法人への移行は、法律の施行時期が平成20年10月と予想されるので、それから５年の移行期間中に、処理をしなければならないこと、及び、申請方法について、一般社団法人は申請だけでいいが、公益としての認定を受けるためには公益目的事業比率が50/100以上であること、遊休財産額が一定額（概ね単年度予算程度か）等の条件を満たした上で認定申請をする必要がある等の報告があった。

６．第二期工程会議

仮設について足場の解体を行うこと、外部改修工事についてサッシ回りの清掃の徹底をお願いしていること、内部改修が学院の冬休みに入ってから本格的に行われること等の報告があった。

７．各会計11月末現況

西野常務より現況報告があり承認した。

８．その他

・与党税調からの情報　[浦田専務理事]

日本歯科医師会より「社会保険診療報酬に対する事業税非課税の特例措置」及び「社会医療法人の法人税の軽減税率」について、ほぼ従来どおりと連絡があった旨の報告があった。

・節電　[浦田専務理事]

電気代については、11月～12月にかけてかなりの節電効果が見られ、使用電力は旧会館の時と同じ水準まで下がった。一方、水道料金については、以前と比較して増加したままの状況にあるので、引き続き、増加の原因を調査するが、役職員は節水を励行することはもちろん会員にも協力を呼びかける旨の報告があった。

・会計　[堤会長]

１）各郡市への助成金の交付時期

２）各委員会費、及び総務費の執行

100周年記念品の検討中

協　議

１．平成19年度各委員会事業計画並びに予算（案）（承認）

事業計画並びに予算（案）について原案通り承認し、平成18年度通常代議員会へ議案として提出することとした。

２．本会創立100周年記念事業（承認）

①式典・祝賀会招待来賓について

若干の修正については会長一任とすることとした。

②その他

・記念品について（承認）

・対外ＰＲについて（継続）

従来のテレビＣＭ放映、新聞広告の案に加えて、100周年記念シンポジウムを開催する案や診療所に来院する方々を対象としたＰＲ案も検討することとした。

３．その他

４．１月当面の行事予定

小島副会長より報告確認された

（広報　宮坂圭太）

受診者数が2000名を突破

― 平成18年度健康診断 ―

厚生・管理委員会

平成18年度の健康診断は、８月26日阿蘇郡市を皮切りに、９月、10月と下記の日程にて実施致しました。各郡市厚生担当の先生方のご協力で、無事に終了することが出来ました。ありがとうございました。

平成18年度の受診状況をみますと（表１）平成17年度と比較して総受診者数が78名の増加となっております。増加率でみますと会員が3.3%、配偶者、従業員が4.1%、全体で3.9%でした。

健康診断項目につきましては基本項目は前年度と同様、追加項目は AFP、CEA をペプシノゲンに変更して実施しました。

（表２）の年度比較集計をみますと、正常者は36.6%、異常者は63.4%と昨年より異常者が若干減少しております。

（表３）有所見別では、男性に肥満、高血圧、高脂血症が多く、女性には肝機能、膵臓機能、貧血系の有所見が多い傾向にあるようです。今年度の健診結果で要精密検査の項目がありましたら、医療機関にて精密検査をお受けになりますようお願いいたします。

また、今回の検査結果を受診者の方々の今後の健康管理、維持にお役立て頂ければと思います。

開設者には年一回の従業員健康診断の実施が義務づけられています。ぜひスタッフの方々の県歯科医師会主催の健康診断を受診されますようご指導頂きますとともに、より多くの会員の皆様に受診して頂けますよう重ねてお願いいたします。

なお、健康診断についての御意見、御要望などございましたら、厚生管理委員会までお寄せ下さい。（厚生管理委員会　中山　万弘）

表１

郡市名	実施月日	各郡市会員	会員受診者数	受診率（%）	会員外受診者数			総受診者数
					従業員	配偶者	計	
熊本市	９月５日(火)～８日(金)	337	163	48%	578	68	646	809
宇土郡市	９月２日(土)	25	17	68%	50	5	55	72
玉名郡市	９月28日(木)	48	28	58%	90	7	97	125
荒尾市	８月５日(土)	28	8	29%	66	4	70	78
鹿本郡市	９月14日(木)	36	19	53%	61	6	67	86
菊池郡市	９月29日(金)	52	32	62%	109	1	110	142
阿蘇郡	８月26日(土)	24	12	50%	35	2	37	49
上益城郡	９月５日(火)～８日(金)	22	8	36%	37	2	39	47
下益城郡	10月21日(土)	27	15	56%	65	6	71	86
八代	９月30日(土)	69	42	61%	169	18	187	229
水俣・芦北郡市	９月９日(土)	19	15	79%	53	8	61	76
人吉市	９月２日(土)	28	17	61%	40	9	49	66
球磨郡	10月７日(土)	14	7	50%	43	3	46	53
天草郡市	８月26日(土)	42	23	55%	108	5	113	136
特別会員		23	0	0%	4	0	4	4
合計		794	406	51%	1,508	144	1,652	2,058

表 2

年度＼比較	正常者	異常者
平成 9 年度	27.3%	72.7%
平成10年度	42.1%	57.9%
平成11年度	37.4%	62.6%
平成12年度	39.5%	60.5%
平成13年度	38.5%	61.5%
平成14年度	35.2%	64.8%
平成15年度	37.1%	62.9%
平成16年度	38.1%	61.9%
平成17年度	35.5%	64.5%
平成18年度	36.6%	63.4%

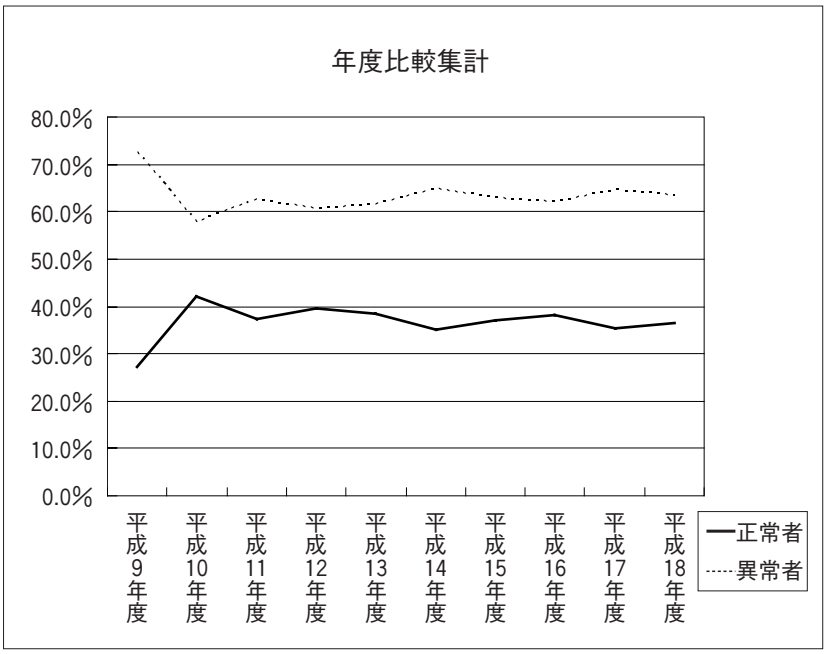
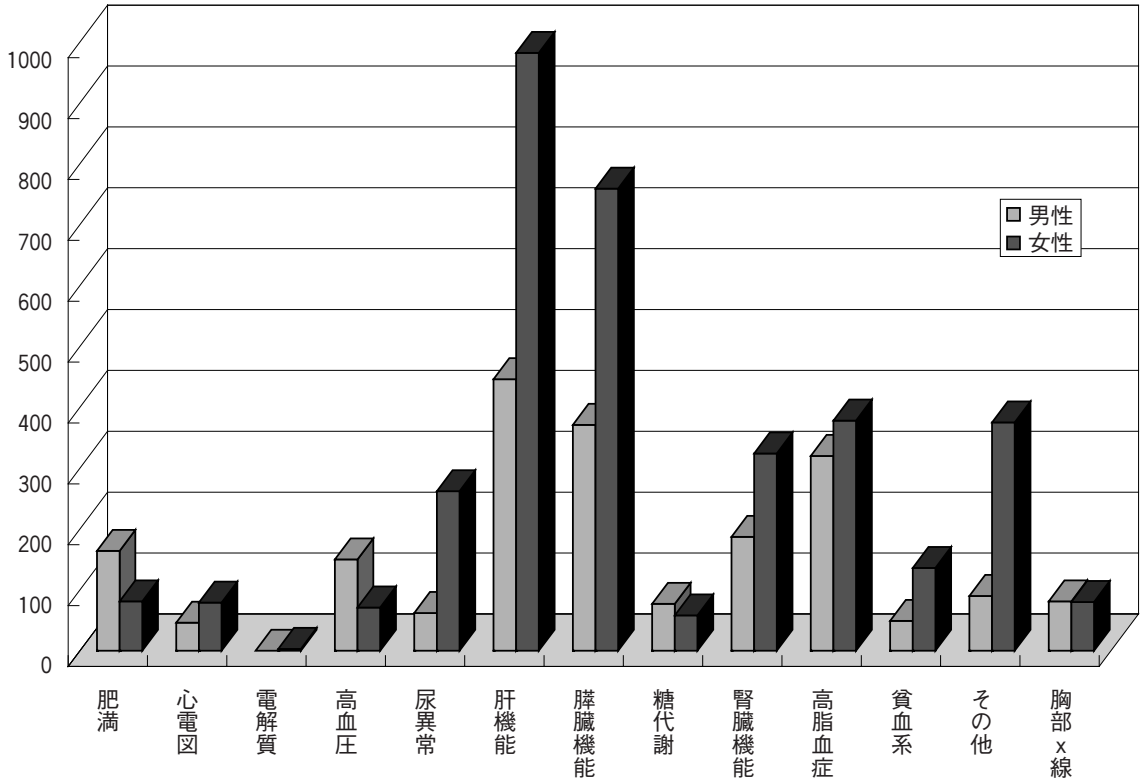


表 3　平成18年度熊本県歯科医師会項目別有所見者数



「院内活性化と患者満足度向上」

― 予防歯科講演会＆スタッフ発表会 ―

厚生・管理委員会

１月14日（日）10時より熊本県歯科医師会館４階ホールにて「院内活性化と患者満足度向上」と題して講演会が開催された。140名の参加があり、厚生・管理委員会の池嶋副委員長の司会で進行した。まず、堤直文会長が、「少子高齢化、診療報酬の問題を踏まえた歯科情勢の厳しさ、又、ドイツの歯科事情を例に、予防歯科分野の重要性を挙げられ、その中で、予防あるいは歯周にうまく対応できる様、本日の講演会で学び、歯科医院作りを行って欲しいと述べられた。」続いて、本日の講師として㈲マクロン代表取締役、松岡光孝氏をお招きし、予防に対する講演会に移った。

少子高齢化が進む今日、60～80歳代の団塊世代が増加し、国民医療費が増大している。これからの歯科における大きなマーケティングになると考えられる。一方で、保険行政において15～64歳の生産年齢入口（医療保険料を支払うもの）の減少により、保険収入と医療費の収支のバランスが崩れ、又、歯科医院の増加で患者数医院数のバランスも崩れている。口腔内の環境の変化を見ても、患者の歯に対する意識が高まり、今後、インプラント、矯正、審美の需要が増える。又、ドイツでは、予防、メンテナンスを中心とした歯科医院が主流で、患者の確保ができている歯科医院は残って行くとされる。このことから、予防中心の歯科医院作りが求められている。

予防歯科導入のプロセスとして、まずビジョンを作成することから始まる。１年、３～５年、10年以上と経過した時のユニット数、スタッフ構成、予防来院数、予防の生産性、診療室全体のバランスを考える。ビジョンの作成後、それをスタッフと共有していく事が重要。例えば「健康幸せ作り、QOL（生活の質）の向上をめざす医院作り」と言ったビジョンを持ち、スタッフに伝え、理解させる。

患者に対しリコールの意識付けが重要

次に予防歯科システムの構築はどのようにしていくか。まず、歯科医院の目的は患者に対し、「積極的に口腔衛生の向上に取り組もうという意欲を起こさせる事」であり、リコールの意識付けが重要になる。予防すれば、現状維持が可能で、一生自分の歯で生活していける、というというものだ。患者自身のモチベーションを上げて行くことが必要とされ、そうすることにより患者が自主的に継続して通院する。治療終了後、１～２週間以内にリコールオリエンテーションを行ない、ここから予防が始まる。リコールでは、問診、染め出し、TBI、PMTC、フッ素塗布、案内を行なう。特に TBI、PMTC でセルフケアの補足をし、患者自身の体験を通して、定期健診の大切さを伝えられる。さらに案内では、費用と期間、予約の話をして、ここで次回の予約を必ず入れる事が、重要となる。スムーズにこれらのことが行なえれば、システムは成功と考えられる。又、このシステムを確立する為に、医療従事者側は、練習、実践、検証、改善を繰り返し行うことが大事。院内勉強会の実施や、院外講習会の受講で、知識、技術の向上を目指し、予防歯科において必要なスキルである、技術力、コミュニケーションス

熱心に聞きいるスタッフ

キル、モチベーションスキルを身に付けていかなければならない。特にスタッフ全員の取り組みが必要となるため、院内コミュニケーションの活性化は不可欠である。

予防の目的は、「患者の利益」にある。患者の歯を守ることが。QOL を向上させ、幸せな生活をつかみとる事になる。今からできることを実践し、予防に取り組んでいただきたい、と述べられ、次のことを宿題に出された。

【テーマ「予防歯科システムについて」】

①予防ビジョン、経営ビジョンの作成をする

②３日以内にビジョンの共有を計る為、スタッフとミーティングを行う

最後に、予防は歯科分野のすべてでなく、１つにすぎない。これからは、さらに高齢化が進むことも踏まえ、往診に対応できるシステム作りも必要不可欠とされることを付け加えられ終了した。

午後の部では、松岡講師の司会で、各医院のスタッフ発表が行われた。今回は、みすみ歯科クリニック、松田歯科クリニック、森永歯科医院の３医院のスタッフによる発表が行われた。

みすみ歯科クリニック

「予防歯科への取り組みとしての院内外活動、院内活性化について」

・ミーティングは常時行い、院内、常勤、全体、スタッフ、に分けられている。

・啓蒙活動の一環として読書をする。研修会にも積極的に参加する。

・院外活動では《ハピカレンジャー》になり代わり、子供達に歯の大切さを教えている。

・診療開始前にエール、ハイタッチをするなど、院長、スタッフとの信頼関係、チームワークを結束する。

松田歯科クリニック

「予防をスタンダードへ」

・２年前からの取り組みで、来院患者が増加した。（リコール患者の増加）

・予防の研修会に積極的に参加し、スタッフのスキルアップを計る。

・リコールオリエンテーション時の行い方、スタッフ各自の動き方を工夫する。

森永歯科医院

「クリニカルパスを目指して」

・スタッフをチーム制にして、チーム全員で担当患者の情報を共有する。

・患者情報を基にタイムスケジュールを作ることで、治療計画、流れが分かりやすくなり、また、患者も理解し易い。

・患者との情報の共有化を計ることで、事故、クレームを事前に防止できる。

３医院とも院内の様子をスライドにして発表され、共通して予防を中心とした歯科医療が行われ、待合室も工夫されている所に感心させられた。

15時30分までの５時間、予防についての勉強会、意見交換が行われ、すべての過程が終了した。

竹下理事が「今回の３歯科医院での発表を、各自参考にし、今後の歯科診療に取り組んで予防歯科を意識した診療を心がけていただきたい」と述べられ閉会した。

今回、出席された先生方、スタッフの方々には、予防の大切さ、その取り組み方について勉強していただき、有意義な時間を過ごされたかと思います。今後も予防歯科についての講習会を計画して行きますので、更に多数のご参加を願っております。

（厚生管理　有働秀一）

ボランティアの心を忘れずに！

― 第４回スペシャルオリンピックス熊本大会 ―

センター・調査・IT委員会

11月３日（金）～５日（日）スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームが40の地区組織および設立準備委員会（都道府県単位）と中国、中華台北の参加でパークドームを主会場として熊本で開催されました。参加人員は選手団1,576人（アスリート1,016人、コーチスタッフ560人）ボランティア4,038人にものぼり、SOでは大会期間中、競技部門とノンスポーツ部門のヘルシーアスリートプログラム（HAP）が並行して行われました。HAPの目的は、イベント会場施設でアスリートの健康管理を行いながら、ケアの仕方・ニーズについて専門家の研修教育、データ収集分析などをする事です。1996年から公式に健康管理サービスがアスリートに提供され、熊本県歯科医師会でもボランティアを募り、歯科医師26名（長崎１名・鹿児島１名・福岡１名）・歯科衛生士15名・歯科衛生士学院生12名、合計53名で検診・ブラッシング指導・カリエスリスク判定をおこないました。その他SON（スペシャルオリンピックス・日本）より東京の高橋先生・岡山大学の江草先生・愛知学院の坪井先生・松本歯科大の小笠原先生もディレクターとして参加して下さいました。

大会当日、松岡理事も７時から活動開始し、ボランティアや検診セットを９時までにKKウイング研修室に搬送、10時より研修を１時間半ほど受け、午後１時から検診者・記入者・ブラッシング指導者などに分かれて検診を開始しました。（アスリートの開会式出席のため１時間半ほどで117名の検診を終了しました。）午後３時からは翌日の検診会場（アクアドーム）への移動のため撤収を開始、荷物を積み込み移動しました。４日はアクアドームのプールサイドでの検診となりました。高円宮妃久子殿下や岩崎恭子さんも検診会場にお見えになりいろいろとご質問をされたり、2007年の10月に夏季世界大会が開催される上海からも大会関係者が視察にお見えになりました。そして、10時から15時までの検診で120名の受診者があり、ライオンのご好意により人数分の歯磨きセット（電動歯ブラシ・歯磨き粉・フロス）をギフトとして提供していただきました。

我々医療に携わるものはボランティアの心を忘れてはいけないと思いますが、この大会はその気持ちを改めて感じさせてくれる良い機会だったように思います。担当の松岡理事とこの１年スペシャルオリンピックスに関わってきましたが、最初はどのようになるのか見当もつきませんでした。しかし、この大会を通していろいろな方と出会い、教えていただいて無事に大会を終える事ができホッとしております。学院の学生さん達やボランティアの方々に検診の合間にこの大会に参加しての感想をお聞きしましたが、大半の方が楽しかったということでしたし、いきいきとした活動ぶりが充実感として私にも伝わってきました。参加していただいたボランティアの方々本当にありがとうございました、そしてお疲れ様でした。

ヘルシーアスリートプログラム（HAP）検診結果

スペシャネスマイル（歯科）　……237名
オープニングアイズ（眼の健康チェック）
……188名
ヘルシーヒヤリング（聴力）　……226名
ヘルスプロモーション（栄養・生活習慣）
……159名
ファンフイットネス（筋力・柔軟性改善）
……142名
フットフィート（足の健康チェック）
……177名

（センター・調査・IT　松本信久）

個別指導の現場から（No.29）

12月個別指導報告

平成18年12月に、それぞれ３歯科医療機関の個別指導が熊本県庁で行われた。主な改善指摘事項は、下記の通りである。

１）有床義歯の欠損病名においては、第３大臼歯は歯式に含めず記載すること。なお、算定は人工歯数によるものとし、摘要欄に欠損歯数と補綴歯数が異なる旨を記載すること。
２）歯科疾患総合指導料において、歯周組織検査を行わず、患者へ文書を提供している事例が見られた。当該指導は必要な検査を行った上で、治療計画を立案し実施するものであること。
３）歯科衛生実地指導を継続して実施している患者について、病状が悪化した場合には指導方法を再度検討するなど、適切な対応を行うこと。
４）スケーリング後の歯周組織検査は、基本治療中であるため、特段の理由がない限り例え歯周精密検査を行っても歯周基本検査にて算定すること。
５）ペリオフィール等の薬物療法を行っている患者については、歯周疾患指導管理料における文書にその旨を記載しておくこと。
６）加圧根管充填の算定にあたっては、Ｘ線撮影にて根管充填後の状態を確認し、適切に施行された根管数を算定すること。
７）EMR,平行測定、ゴシックアーチ等の検査結果を漏れなく診療録に記載あるいは添付すること。
８）歯根嚢胞摘出手術、歯根端切除術、歯周外科手術、口腔前提拡張手術、遊離歯肉移植手術等の手術所見が項目と麻酔のみで、術式等が全く記載されていない。これらを含め各種手術を算定する場合には、算定根拠となる症状及び詳細な術式を診療録に記載すること。
９）歯周疾患指導管理料において、歯周病と異なる内容の記載が見られたため、指導の趣旨に沿った内容を記載すること。また当該管理料の文書内容に病状、歯周組織検査等の検査結果が記載されていないため、算定要件を確認し、適切に記載すること。
10）鎮痛剤の投与にあたり、一度に12回分を処方している事例が見られた。投薬は必要最小量にとどめること。

尚、１月の個別指導は６歯科医療機関に対して実施される予定である

（社保　中嶋　敬介）

国保だより

医療費適正化の総合的な推進

厚生労働省保険局から発表されました「医療費適正化の総合的な推進」について報告させて頂きます。

表１で、平成12年度と平成37年の人口構成の推計で比較すると平成37年では、50歳以上の人口が増大しています。

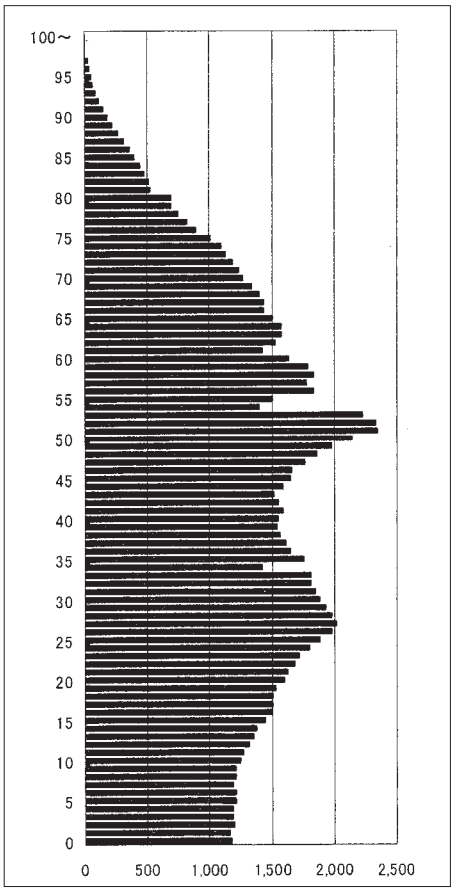
この人口構成の変化に伴なって、医療費の比較をしたものが表２です。

人口構成の変化とともに、平成19年度に比べ平成37年度では約２倍の医療費が必要になると推計されます。この医療費の増大に、歯止めをかける為として、厚生労働省は、生活習慣病対策の推進を進める計画です。

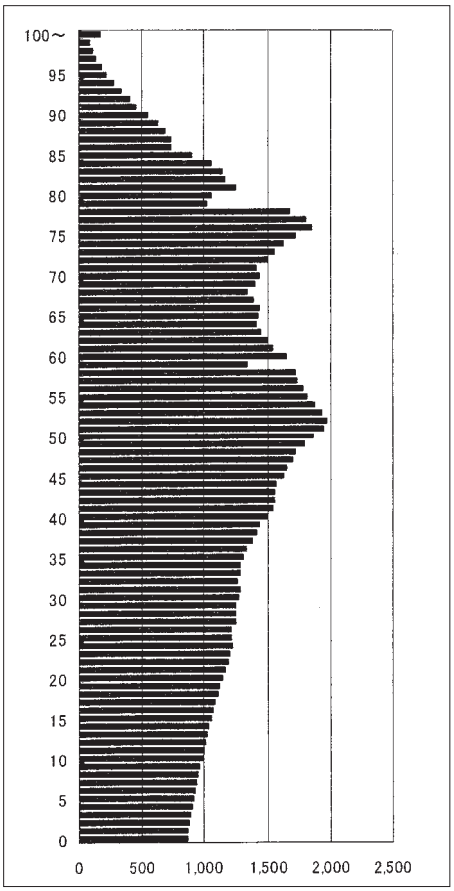
医療構造改革における生活習慣病対策の推進について厚生労働省は、近年わが国では中高年男性を中心に肥満者の割合が増加傾向にあるが、肥満者の多くが糖尿病・高血圧・高脂血症等の危険因子を複数併せ持ち危険因子が重なるほど心疾患や脳血管疾患を発症する危険が増大します。

この為、内臓脂肪肥満に着目した「内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）」の概念を導入し、国民の運動・栄養・喫煙面での健全な生活習慣の形成に向け（１に運動・２に食事・しっかり禁煙・最後に薬）国民や関係者の「予防」の重要性に対する理解の促進を図る「健康づくり・国民運動化」を推進するとともに、必要度に応じた効果的な保健指導の徹底を図る「網羅的・体系的な保健サービス」を積極的に展開するとなっています。

表１　人口構成の変化

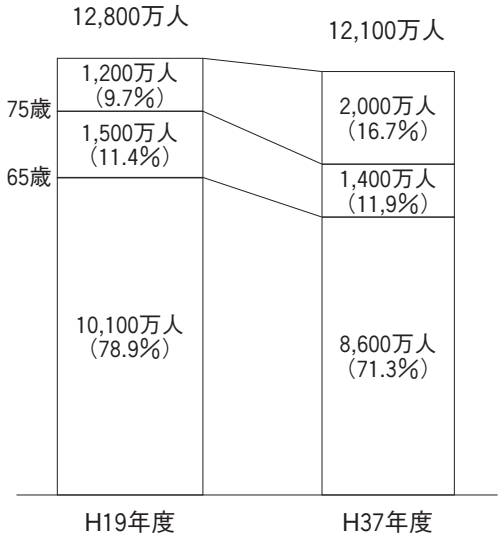


2000年（平成12年）

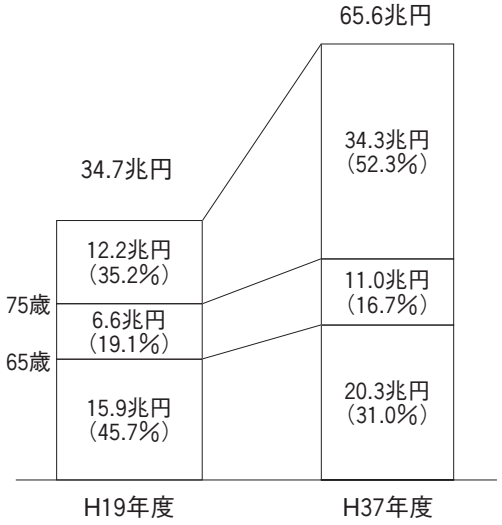


2025年（平成37年）

表２　人口構成（推計）



医療保険医療費（推計）



生活習慣病対策の取組みとしての基本的な方向としては以下の通りである。

・医療保険者に対し40歳以上の被保険者・被扶養者を対象とする内臓脂肪型肥満に着目した健診及び保健指導の事業実施を義務付ける。

・併せて、実施結果に関するデータ管理を義務づける。

・各医療保険者の実施状況や成果を踏まえ、後期高齢者支援の負担額について加算・減算を行う。

医療費適正化の考え方として

医療保険者に
特定検診の実施を義務付け
↓
一定の基準に該当する者
↓
医療保険者に特定保険指導
の実施と義務付け
↓
生活習慣病のリスク要因の
減少
↓
生活習慣病に起因する医療
費の減少

という構図になっています。

この医療費適正化の根拠となっているのが

・社会保険財団が行った健診の結果、要保健指導となった者に対して、12ヶ月程度の期間を通じて２～３回の面談の他、適時電話等による助言やフォローを実施する事でリスクが減少（有病者が約40%減少・予備軍が３%減少）

・三重県の政管被保険者調査結果では、肥満・血圧・脂質・血糖の４項目の健診結果に異常が多かった人ほど、10年後の患者１人あたり医療費が高くなり、中でも４項目全てに異常があった人は、異常が全くなかった人に比べて約３倍（14万～45万）

・宮城県大崎保健所管内に住む40歳～79歳の国保加入者の調査では、1995年１月から2003年12月31日までの９年間追跡するとBM125以上の肥満・喫煙・運動不足の３つのリスク全てが該当する者の医療費はリスクがない者に比べて47.3%増加、肥満・運動不足の２つが該当する者は17%という結果が出ている事から、厚生労働省はこれを根拠に医療費適正化をすすめる計画となっている。

この医療費適正化計画に基づいて歯科医師国保組合保険者の立場から情報提供・動機づけ支援・積極的支援を行っていく事になります。

被保険者・被扶養者の方々には、ご理解・ご協力をお願いします。

生活習慣病の現状は
・糖尿病→有病者740万人／予備軍880万人
・高血圧症→有病者3100万人／予備軍2000万人
・高脂血症→有病者3000万人
と推計されています。

（国保　原田秀一郎）

郡市会だより

会則変更等について協議！

― 臨時総会および忘年会 ―

上益城郡

12月16日（土）午後５時より、嘉島町の料亭「とくなが」において、平成18年度上益城郡歯科医師会臨時総会および忘年会が行われた。まず、開会の辞を河端副会長が述べられ、議長に山内会員を選出し江藤会長が「今年の行事が速やかにかつ滞りなく遂行できたのは、執行部および会員の協力のおかげであることを感謝いたしますと同時に、今年やり残した事やこれから出てくる問題に対しましても、全力であたります。」と挨拶された。その後報告事項として、①笑顔ヘルＣキャンペーン　②代議委員会報告　③DV 対策会議報告　④各委員会報告　⑤新入会員について　⑥乳幼児助成金についてがあり、つづいて協議事項として、①各町での上益城地域歯科保険推進連絡会について　②平成18年度日歯生涯研修セミナーの会員発表について　③勤務会員について　④日当旅費について　⑤「石井みどり」支援者名簿について　⑥会則変更について等様々な協議がなされ、清村常務理事が閉会の辞を述べ臨時総会は、終了した。

来賓の牟田医師会会長

この後今年は、郡内の医師との連携を強くしていこうということで、ゲストとして上益城郡医師会牟田光一郎会長をお招きし、歯科と関係する口腔乾燥症について講演して頂いた。専門が漢方医学ということで、滋潤剤および消炎剤として使用する漢方薬と口腔乾燥からくる咽頭炎時に使用する漢方薬を紹介された。「アレルギーをもった患者が多い現在、化学療法が使用できない場合も多々あるので、漢方医学を医師も薬剤師も勉強して欲しい。」といわれていた。

この後忘年会場に席を移し、牟田会長と共に杯を酌み交わし親睦と結束を、大いに深めた。宴は盛り上がり午後10時30分まで続き神戸会員のばんざいでおひらきとなった。

（佐藤　昭彦）

温泉にゆっくりつかって休養を！

― 親睦旅行 ―

阿蘇郡市

11月25・26日、菊池温泉笹之家へ親睦旅行が行われた。26日に県歯で講習会が開かれる為に例年はバスを利用した移動であったが今回は近場で各自現地到着、現地解散ということとなった。

25日午後５時に笹之家に全員集合、各自温泉につかりゆっくりした後６時半より宴会が始まった。阿蘇郡市支部もこの５年間で、新規及び親子会員を含め６名の会員が増え、又町村合併により２会員が減ったりと会員の異動が多く見られた。又今回、片山執行部から田代執行部へと移り初めての旅行でもあり田代会長のこれからの支部の発展に対する熱い気迫が我々全員にも伝わってきた。

日歯問題に端を発した保険点数の改正などなにかと暗い話題の多かったこの１年、各先生がそれぞれしっかりと仕事をするのはもちろん、支部としても団結して、この状況を乗り越えていかなければならない…等、熱い!?議論を交わし…体内アルコール濃度が最高潮に達した頃には、趣味の事等、様々な話題に花を咲かせなごやかな雰囲気の中、菊池の夜は延々と続いた。

（馬谷　　真）

郡市会だより

2007年新たなスタートは新年会から

— 新年会 —

天草

雨交じりの強風が吹いた１月６日(土)、新年恒例の天草郡市歯科医師会新年会がホテルアレグリアにて行われた。毎年天草の政界、医師会、薬剤師会等各方面より来賓をお招きするが、今年は園田衆議院議員御本人が出席され華やかな会となった。

まず最初に久々山会長が新年の挨拶で「15年続いた天草地域医療センターでの日祝日当番医も３月で幕を閉じ４月からは個々の医院での当番となるが、会員の皆さんには協力をお願いします。」と述べられ、続いて園田議員からは「政府系金融機関の統廃合、参院選後秋から始まる税制(消費税)問題も医療保険、年金の財源を確保する為には避けて通れないという事を御理解頂きたい。」とのお話があった。さらに安田天草市長からは「新市が始まって初めての正月、一次産業、観光産業を育てて交流人口を増やし、天草地域を活性化させるよう頑張って行きたい。」と話され、酒井天草医師会長が「書類書きに追われる医療ではなく患者さんと向き合える時間を多く取れる様な医療を評価してもらいたい。」と締めくくられた。来賓の中から代表で田中天草薬剤師会長が乾杯の音頭を執られ宴会へと移行した。

園田衆議院議員本人が出席され華やかな会となった

この時期は多くの新年会を掛け持ちで忙しく廻られる園田議員も今年は各テーブルを廻られて比較的若手の方の面々にも楽しく歓談されていたのが印象的だった。こうして末端の意見を少しでも吸い上げて頂ければ、と切に願う次第である。　（槌本亮二郎）

話の花満開！

— 新年会 —

菊池

平成19年1月20日（土）、熊本市の松扇にて菊池郡市歯科医師会新年会が行われた。当日は37名もの出席があり会場内は当初から熱気に包まれていた。

三隅菊池郡市歯科医師会会長からは、たて・よこ・ななめの関係を強め、コミュニケーションをよくとって「対話と効果」を大事にしていきたい。４人の新入理事から様々な意見が出ており為になっている。また70才以上の実績ある先生方の為に元気会を始め、今回は残念ながら鹿井先生は体調不良で欠席されたが、中川先生が出席された。さらに地域別に支部会の設立を働きかけており、支部におけるコミュニケーションの強化を図っていきたい。対外的には私たちの言葉を代弁してくれる人間が必要であり、石井さんに是非1票をおねがいします。との挨拶があった。

当日来賓として出席された堤熊本県歯科医師会会長からも重ねて選挙における意義の大切さと協力のお願いがあった。

たて・よこ・ななめの関係を強めていきたい

懇親会に入ると例年になく盛り上がりが早く、あちらこちらで話に花が咲き、年齢・性別に関係なく爆笑の波が起こっていた。会場予約時間はあっというまに過ぎ去り、物足りない有志同士で２次会へと繰り出していったようである。　（阿久根秀典）

郡市会だより

歯科医師として新たな行動を!!

― 新年会 ―

阿蘇

１月19日（金）阿蘇市内牧の蘇山郷で新年会が行われた。県歯から堤会長、吉田副会長、浦田専務が参加された。

田代阿蘇郡市会長のあいさつ後、堤会長から県歯の会務について、EBMが求められる昨今新会館での研修会などの利用状況が好調である事、また６月に県歯科医師会創立100周年式典が予定されている事などが報告された。次に歯科界の現状について、厚生労働省との関係がほぼ修復されつつある一方、中医協では患者本位の意向しか通用しなくなっている事が報告された。

続いてわが国の近代歯科医師の歴史を遡り、「現在の社会的地位は、先輩方の並々ならぬたゆまない努力の結果であり、情勢が変わりつつある今これに甘んじていては今後の展望が危ぶまれる状況ではないか。我々が新しい時代を作り出す時に来ているのでは？」と解説された。年頭に当たり、ガツンと大きなテーマをいただいた講演であった。

100周年式典を予定しています

終了後、中村阿蘇郡市薬剤師会長を来賓にお迎えし、宴会を行った。　（桑田　和明）

訃　　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

那須　キヌ 先生
平成19年１月13日　ご逝去　96歳

- 郡　市　名：球磨郡
- 入会年月日：昭和22年８月20日

栗原　幸紘 先生
平成19年１月30日　ご逝去　67歳

- 郡　市　名：熊本市
- 入会年月日：昭和45年10月29日

ニューグルメハンター

RESTAURANT
La Petite Auberge
ラ プティ オーベルジュ
Yoshikazu Kawaguchi

《フランス料理》
ラ・プティ・オーベルジュ

心づくしのお料理とワインでおもてなし…

営業時間　ランチ　11：30～　ディナー17：30～
定 休 日　日曜日（相談可）TEL096-344-9477
住　　所　熊本市坪井１－３－43

上通り方面から仁王さん通りに入ってすぐ左手、レンガに植栽された前庭が入り口です。

オーナーシェフの川口さんは薬学部卒と変わった経歴の持ち主です。

リーズナブルな値段で、本場のフランス料理が味わえます。

ランチもお得です。一度お試しあれ。

ランチ　800～1600円
お昼のコース料理　2500円
ディナー　3000円くらいから

（立本）

お知らせ

平成18年度通常代議員会・通常総会のお知らせ

下記の通り平成18年度通常代議員会・通常総会を開催いたしますのでお知らせします

記

通常代議員会　　日時：平成19年３月17日（土）午後２時
　　会場：熊本県歯科医師会館　４Ｆホール
通 常 総 会　　日時：平成19年３月17日（土）午後５時
　　会場：熊本県歯科医師会館　４Ｆホール

会　務　報　告

自　平成18年12月11日
至　平成19年 1月25日

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総務	12月12日	酒井自衛隊第八師団長歓迎会（全日空ホテルニュースカイ）	前野監事
	13日	第７回日歯戦略会議（日歯会館）	堤会長
	14日	第16回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		100周年記念史編集委員会（1）学院・国保担当者と内容の最終確認（2）コロニー印刷と打ち合せ（3）来月からの取組みについて説明　他	前野委員長ほか６委員、逢坂委員（学院担当）、上野委員（国保担当）
	15日	第11回理事会（1）平成19年度各委員会事業計画並びに予算（案）（2）本会創立100周年記念事業	堤会長ほか全役員
	16日	第23回熊本県警察医会研修会（熊本県警察本部）	上田副会長
	17日	剣道部忘年会（熊本市）	堤会長、竹下理事
	18日	第１回常務打合会	堤会長ほか常務理事以上役員、原田国保組合副理事長
	19日	支払基金審査委員会学術講演会（支払基金）	堤会長
		支払基金審査委員懇談会（ホテルニューオータニ熊本）	堤会長
	20日	日歯機構改革検討委員第４回ワーキンググループ（日歯会館）	堤会長
		100周年記念史編集委員会（1）第５校の内容検討・修正作業	前野委員長ほか６委員
	21日	第10回日歯理事会（日歯会館）	堤会長
	22日	熊本県医療審議会（熊本県庁）	堤会長
		100周年記念史編集委員会（1）記念史全体の編集・校正	前野委員長ほか２委員
		鹿児島大学歯学部同窓会忘年会（熊本市）	堤会長、浦田専務理事
	25日	支払基金幹事会（支払基金）	堤会長
	26日	第５回日歯・日歯連盟役員連絡協議会（日歯会館）	堤会長
		第４回役員合同勉強会	堤会長ほか20役員
	28日	仕事納め式	小島副会長、浦田専務理事
	１月４日	仕事始め式	堤会長、浦田専務理事
	５日	100周年記念史編集委員会（1）県歯100周年記念史編集校正	前野委員長ほか２委員
	６日	九州各県専務理事会（ホテルニュー長崎）	浦田専務理事
		監事月次監査（1）月次監査	前野・片山監事
		鹿本郡市新年会（山鹿ホテル）	堤会長、中嶋常務理事
		八代新年会（八代ロイヤルホテル）	上田・吉田・小島副会長
	９日	第22回常務理事会（1）定期預金の切り換え（2）くまもと歯の健康文化賞（基金）委員会規程の一部見直し（3）平成18年度通常代議員会日程（案）他	堤会長ほか常務理事以上役員
	10日	日本歯科商工協会創立20周年記念並びに新年賀詞交換会（ホテルグランドパレス）	堤会長
	11日	第17回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		第８回日歯戦略会議（日歯会館）	堤会長
	13日	菊池郡市新年会（熊本市）	堤会長
	18日	第18回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		日歯機構改革検討委員会第５回ワーキンググループ（日歯会館）	堤会長
	19日	阿蘇郡市新年会（阿蘇市・蘇山郷）	堤会長、吉田副会長、浦田専務理事
		100周年記念史編集委員会（1）変更事項の説明（2）資料編掲載行事について検討（3）各委員編集・校正作業	前野委員長ほか６委員
	23日	第23回常務理事会（1）新入会員の承認（2）関係団体・機関からの役員・委員の推薦依頼（3）医療費適正化計画　他	堤会長ほか常務理事以上役員、八木理事

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	23日	推奨医制度検討会	犬束・伊藤・竹下理事
	24日	第６回日本歯科医師会・日本歯科医師連盟役員連絡協議会（日歯会館）	堤会長
		日歯厚生委員会第１回小委員会（日歯会館）	堤会長
		国民政治協会「新年懇談会」（ホテルニューオータニ）	堤会長
	25日	第11回日歯理事会（日歯会館）	堤会長
		国保診療報酬審査委員会新年会（熊本市）	上田副会長
学　術	12月22日	鹿本郡市学術研修会（鹿本郡市事務所）　マウスガード研修会	清水委員
	25日	学術小委員会（1）レントゲンパネル	伊藤理事、松永委員長ほか２委員
	1月14日	熊本県歯科医師会　有料研修会　「コーチング＆PMTC」阿部恵講師　受講者：20名	小島副会長、伊藤理事ほか２委員
	22日	平成18年度海外技術研修員等閉校式（熊本県庁）	伊藤理事
	24日	下益城郡歯科医師会学術研修会（松橋ホワイトパレス）　マウスガード研修会	松永委員長
		玉名郡市歯科医師会学術研修会（玉名文化センター）　マウスガード研修会	藤本委員
社　保	12月12日	保険個別指導（県庁）	勇理事
	14日	保険個別指導（県庁）	中嶋常務理事
	23日	社会保険個別相談会　相談者：５名	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長ほか７委員
		社会保険委員会（1）保険だより（2）点数アップの心得（3）個別相談会　他	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長ほか７委員
	26日	社会保険事務局との打合せ	上田副会長、浦田専務理事、中嶋常務理事、勇理事
	1月4日	社会保険関係者賀詞交換会（ウェルシティ）	堤会長、上田副会長、中嶋常務理事、勇理事
	11日	保険個別指導（県庁）	中村副委員長
	17日	保険個別指導（県庁）	前田委員長
	18日	保険個別指導（県庁）	田中副委員長
地域保健	12月21日	県歯科保健推進会議ワーキング部会打合せ（1）フッ化物洗口マニュアル（2）フッ化物普及方策（3）歯科保健医療計画の進捗状況・今後の推進方策　他	八木理事、入江会員
	26日	県歯科保健推進会議ワーキング部会（県庁）	八木理事、入江会員
	1月9日	歯の衛生週間事業運営打合せ	浦田専務理事、渡辺・西野常務理事、八木理事
	18日	地域保健委員会（1）「8020をめざして」情報発信地域保健（2）各郡市地域保健担当者会（3）8020推進員育成事業（案）　他	八木理事、川瀬委員長ほか全委員
厚生管理	12月22日	厚生・管理委員会（1）医療管理講演会（2）次年度の事業計画及び予算案（3）厚生・管理だより　他	竹下理事、瀬井委員長ほか５委員
	1月14日	厚生管理講演会	堤会長、竹下理事、瀬井委員長ほか全委員
広　報	12月12日	広報委員会（1）「熊歯会報」新年号・編集（2）100周年事業対外広報（3）モニター会議	宮坂理事、加藤委員長ほか全委員
	20日	広報委員会（1）「熊歯会報」新年号・第１回校正（2）100周年事業・対外広報（3）モニター会議	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長ほか全委員
	27日	広報小委員会（1）「熊歯会報」新年号・第２回校正	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長
	1月16日	広報委員会（1）「熊歯会報」２月号・編集	宮坂理事、加藤委員長ほか全委員

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
広報	1月23日	広報小委員会（1)「熊歯会報」２月号・校正	宮坂理事、加藤委員長ほか５委員
学歯	12月12日	熊本県学校保健会臨時総務委員会（熊本県庁）	吉田副会長、渡辺常務理事
	21日	県PTA災害見舞金安全会判定審査会（県総合福祉センター）	谷口国保理事
	22日	学校歯科委員会（1)第２回学校歯科医研修会について（2）熊本県学校保健会研修会について	渡辺常務理事、田上委員長ほか５名
	1月6日	学校歯科委員会（1)第２回学校歯科医研修会 （2)学校歯科保健推進大会	渡辺常務理事、田上委員長ほか４名
	13日	第２回が壙歯科医研修会　参加者147名	堤会長、渡辺常務理事、田上委員長ほか全委員
	17日	県高等学校保健研究協議大会（県薬剤師会館）	吉田副会長
		県PTA災害見舞金安全会判定審査会（県総合福祉センター）	谷口国保理事
	19日	熊本県学校保健会合同研修会（水前寺共済会館）	渡辺常務理事、田上委員長、桐野委員
医対	12月16日	医療対策委員会（1)坂本弁護士を呼んでの事例検討会	犬束理事、片山委員長ほか６委員、前野監事
	20日	医療対策委員会（1)委員会研修会の反省（2)医療トラブル講演会	犬束理事、片山委員長ほか５委員
	1月6日	熊本市東部３支部新年会（熊本市）	犬束理事
	16日	医療対策小委員会（1）医療トラブル講演会	犬束理事、前野監事
	19日	医療対策委員会（1)医療・苦情相談の報告（2)医療トラブル対応講演会（3)研修会報告（片山委員長）　他	犬束理事、片山委員長ほか全委員
調査IT	1月11日	センター・調査IT委員会（1)障害児(者）口腔ケアリーダー研修会（2)介護者歯科実技研修会	松岡・高松理事、松本・小野委員長ほか全委員
	20日	障害児（者）口腔ケアリーダー研修会　受講者：35名	小島副会長、松岡理事、松本委員長ほか３委員
学院	12月13日	学院臨床実習場反省会　実習場歯科医師21名・歯科衛生士29名（1)第43期生予備臨床実習及び臨床実習計画案（2)３年制教育課程の臨床実習計画案	上田学院長ほか５教務委員
	16日	学院１・２年生研究テーマ発表会	堤・出口副学院長
	22日	学院終業式	上田学院長
	1月9日	学院始業式	上田学院長
	13日	学院患者直接対面行為実習（２年生）	川嵜講師
	15日	学院一般一次入学願書受付（至26日）	
	20日	学院患者直接対面行為実習（２年生）	宮崎講師
センター	12月24日	介護者歯科実技研修会　参加者43名	松岡理事、松本委員長ほか３委員
	27日	介護者歯科実技研修事業打合せ　県との打合せ（1）研修（2）ワーキング委員会	松岡理事ほか３名
	1月18日	口腔保健センター打合会（1）障害児（者）口腔ケアリーダー研修会打合せ（2）研修資料の作成、確認	松岡理事ほか5名
国保	12月11日	組合地区国保運営協議会役員研修会（KKRホテル熊本）	堤理事長ほか全理事
	20日	九歯連役員会（武雄市）	堤理事長
		九歯連役員会（武雄市）	堤理事長、上野常務理事ほか１名
	21日	九歯連事務担当者連絡会（武雄市）	奥村課長補佐

収益事業からのご案内

まだ高い保険料をお支払いですか？

生命保険の保険料納付は団体扱いがお得です！

個人扱いより保険料が

1.8～3.5% お安くなります。

（保険商品・保険料額によって、割引率が異なります。）

例）月々100,000円の保険料に3.5%割引が適用された場合、月々3,500円お安くなります。月々3,500円の保険料であれば、歯科医師会のグループ保険で死亡保険金額：1,000万円のプランにご加入できます。（43歳　男性の場合）

手続きカンタン。事務局まで電話一本。
あとの手続きは事務局にて代行いたします。

収益事業では、次の生命保険各社と団体契約しております。まだ、歯科医師会の天引きにされておられない方は、是非ご検討ください。

アリコジャパン	第一生命	三井生命
住友生命	ひまわり生命	明治安田生命
日本生命	アメリカンファミリー生命	富国生命
ＡＩＧスター生命	朝日生命	T&Dファイナンシャル生命

※詳細につきましては、県歯事務局（FAX096-343-0623　担当：清水）まで、ご連絡ください。

3 行事予定

6日（火）	第 26 回常務理事会
12日（月）	第 27 回常務理事会
13日（火）	学院卒業式
17日（土）	通常代議員会
〃	通常総会
27日（火）	第 13 回理事会

編集後記

正月はひたすら食って、飲んで、寝てを繰り返していました。幼い頃は、兄弟でお節料理の取り合いをした事を思い出します。（男3兄弟）特に栗きんとん。我々兄弟にとっては至福のご馳走で、ものの5分も経たないうちに跡形も無く重箱から消えていました。大人になり争う者も無くゆっくり味わう栗きんとんは、何故かしら物足りなさを覚えました。智恵の悲しみでしょうか？

今年も色気より食い気でがんばります。

歯科医師会創立100周年、実りある年になる事を期待します。（N.T）

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2007年2月15日発行
発行人／堤　直文
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863　熊本市坪井2丁目4-15
TEL 096-343-8020
FAX 096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷